

107 ブッポウソウ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク:A

Eurystomus orientalis

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク:EN(絶滅危惧 I B類)

種の概要

本州、四国、九州では夏鳥、沖縄では旅鳥。平地から山地の大木の多い森林や農耕地近くの林に生息し、主に樹洞に営巣する。兵庫県では主に5-10月に記録がある。見通しのよい枝や電線に止まり、飛翔中のコガネムシやトンボなどをフライングキャッチする。巣は樹洞以外に、キツツキの古巣、電柱の穴、巣箱なども利用する。



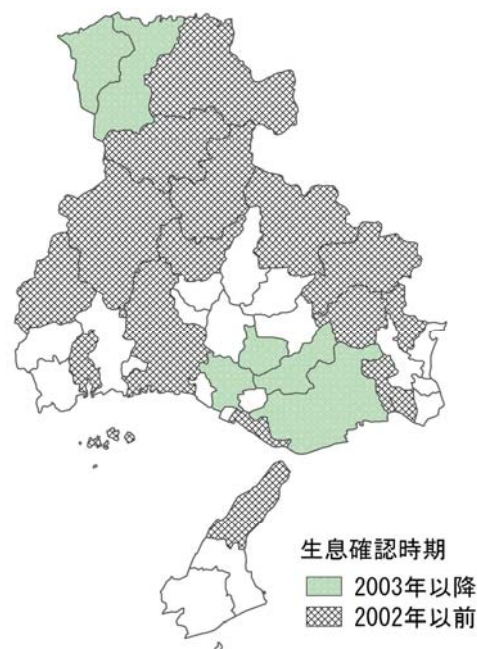
写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、利尻島、焼尻島、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、(明石市)、(西宮市)、(芦屋市)、(相生市)、(豊岡市)、加古川市、三木市、小野市、(三田市)、(篠山市)、(養父市)、(丹波市)、(朝来市)、(淡路市)、(宍粟市)、(猪名川町)、(神河町)、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
かつては県内全域に広く繁殖分布していた。1964年頃を境に、次第に繁殖地が減り、個体数も急減し、1990年頃には但馬地域にごく少数が営巣するだけになっている。現在では渡りの時期に稀に記録されるものの、繁殖個体群はほぼ消滅状態にある。

保護上の留意点

山地が隣接する岡山県では保護の下に繁殖しており、個体数も増加している。兵庫県においても、現在の営巣適地に巣箱を架設するなど、積極的な保全対策を行うことで繁殖個体群を再確立できると考えられる。